

まち歩き参加者募集！ニッポンの職場を巡る旅・越前市

2021年8月28日(土)～11月13日(土)

手仕事 の まち歩き

TESHIGOTONO
MACHIARUKI

福井県
越前市

やなせ和紙



1

8月28日(土)開催

普段は見られない越前筆筒の工房見学と
タンス町通りガイドツアー



2

9月11日(土)開催

プロに学ぶ講座
『日本酒の裏ラベルを読もう!』と酒蔵巡り&
料亭のソムリエ女将と楽しむ会席



3

10月11日(月)開催

越前打刃物ゆかりの地
まちなか歴史散策とオリジナル包丁作り体験
昼食はミシュラン星付き料亭『茶懐石 佳秀』のお弁当



4

10月23日(土)開催

バックステージツアー・越前市2大イベント
『サマーフェスティバル』と『たけふ菊人形』の舞台裏を目撃!
花火と菊花2つの『花』の共宴



5

10月30日(土)開催

北陸の屋根を担う職人たち 越前瓦の工場見学と
鬼瓦職人『鬼師』の手仕事



6

11月13日(土)開催

紙幣の歴史はここから始まった!?
越前和紙の産地でたどる『お札の足跡』



滝製紙所



朽飯八幡神社



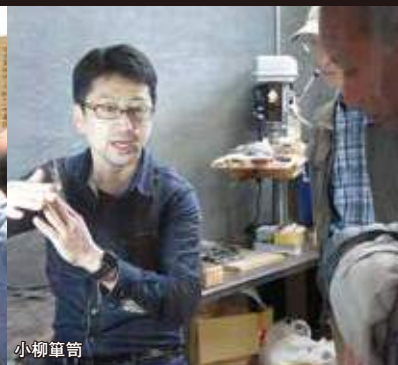
片山酒造

手仕事のまち歩きは ニッポンの心に出会う旅

古い歴史を誇る越前市は、「越前和紙」「越前打刃物」「越前筆筒」の3つの伝統的工芸品を今に受け継ぐ「手仕事のまち」です。市内を散策すると、産業の発展とともに形成された町並みや文化、人に出会えます。お寺やお社、古い路地、看板、蔵など、昔ながらの懐かしい景色のなかには、ゆっくりと積み重ねられた人々の暮らしを垣間見ることができます。「手仕事のまち歩き」は、そんな人の手で時間をかけて創り伝えられてきた越前市の心、日本の心に触れるまち歩きです。



三田村家



小柳筆筒



長田製紙所



タケフナイフピレッジ

～ おかげさまで5周年～ 第2ブランド「越前カルチャーキャンパス」誕生!!

基本講座で学んでからフィールドワークに出かけよう！



基本講座

イメージ



フィールドワーク

イメージ

越前カルチャーキャンパスとは、『手仕事のまち、越前市』を“学ぶ”をコンセプトに、座学講座とフィールドワークを組み合わせた新プログラムです。座学講座では、各界の専門家が伝統文化や習わし、名所等について教鞭をとり、フィールドワークでは、座学講座で学んだことを実際に見学・体験し、今まで知らなかった越前市の魅力を存分に味わうことができる内容となっています。

千年未来工芸祭タイアップ特別企画



1. 普段は見られない越前筆筒の工房見学と タンス町通りガイドツアー 日帰り

“越前市”を舞台とした“ものづくり”を発信する2つのイベント『千年未来工芸祭』と『手仕事のまちなか歩き』が初めてタイアップ！今回の企画では『千年未来工芸祭』メイン会場から最も近いまちなかの伝統的工芸品・越前筆筒の産地を、武生を知りつくしたナビゲーターの案内で巡ります。

出発日 **8月28日** ⊕

1回目/11:00~12:30 2回目/15:00~16:30

越前筆筒職人の技や心意気に触れてください！



長尾 創さん(指物屋 上坂)

旅行代金(おとな1名様)▶500円 最少催行人員▶1人 所要時間▶1時間30分

※添乗員が同行します ※食事条件▶朝食なし、昼食なし、夕食なし

ポイント

- 風情あるタンス町通りで職人の説明を聞きながら工房見学 ● 『越前筆筒会館』で指物製品を見ながら、越前筆筒の歴史を学ぶ ● 中国から指金を移入し、古くから木工職人の信仰を集める聖徳太子を祀った太子堂を見学
- 1時間半のミニツアー。午前と午後の2回設定

コース

〈11:00/15:00〉越前市AW-スポーツアリーナ(集合)ー〈11:20/15:20〉指物屋 上坂(工房見学)、
タンス町通り(散策)ー〈11:55/15:55〉越前筆筒会館(見学)ー〈12:15/16:15〉聖徳太子堂(見学)ー
〈12:30頃/16:30頃〉越前市AW-スポーツアリーナ(解散)



指物屋 上坂



タンス町通り



聖徳太子堂



越前筆筒会館

越前カルチャーキャンパス



2. プロに学ぶ講座『日本酒の裏ラベルを読もう!』と酒蔵巡り& 料亭のソムリエ女将と楽しむ会席 日帰り

昨年度の人気企画がさらにパワーアップして再登場！日本酒にどっぷりはまる夢の1日を堪能するツアー。日本酒講座・利き酒体験に、2軒の酒蔵をハシゴして試飲付き見学、料亭のソムリエ女将の解説付き美酒美肴のマリアージュ体験とフルラインナップの企画。

出発日 **9月11日** ⊕ 13:00~20:00

旅行代金(おとな1名様)▶A:2,900円 B:4,900円 C:13,900円

最少催行人員▶10人 所要時間▶7時間 ※添乗員が同行します ※食事条件▶朝食なし、
昼食なし、夕食1回 ※往復貸切バス利用 ※出発時点で満20歳以上の方に限ります

日本酒ラベルの向こう側の物語をひも解いていきましょう！



日本酒講座&利き酒体験講師
久保田 裕之さん(久保田酒店代表)

ポイント

- ①『日本酒の裏ラベルが読めるようになる講座』と『利き酒体験会』を開催
- ②酒蔵見学は試飲付き。蔵出し秘蔵酒のプレゼントも！
- ③料亭でソムリエの資格を持つ女将の解説を交え日本酒と相性抜群の会席料理に舌鼓

※①のみの参加(料金A)、①+②の参加(料金B)、①+②+③の参加(料金C)の3パターンが選べます

コース

〈12:40〉観光・匠の技案内所(集合)ー〈13:10〉料亭うおとめ(日本酒講座と利き酒体験)ー
〈15:20〉片山酒造(酒蔵見学と試飲)ー〈16:45〉北善商店(酒蔵見学と試飲)ー
〈18:00〉料亭うおとめ(会席料理と試飲/20:00頃解散)



片山酒造



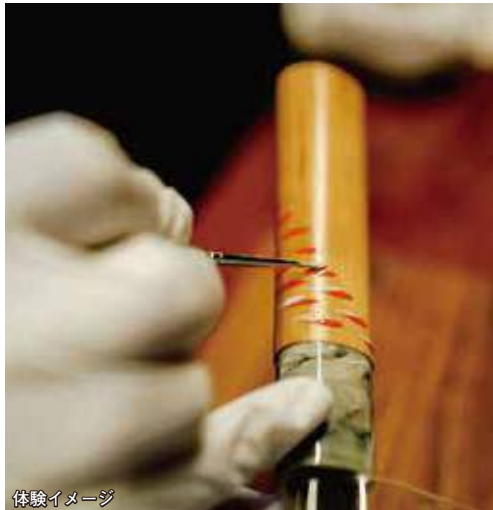
会席料理・試飲イメージ



北善商店



利き酒イメージ



コラボレーションワークショップ

3.越前打刃物ゆかりの地 まちなか歴史散策とオリジナル包丁作り体験

日帰り

昼食はミシュラン星付き料亭『茶懐石 佳秀』のお弁当

越前打刃物産地ならではの「包丁の刃研ぎ」と「ハンドルへの漆絵付け」。2つの体験で世界でたった1本のオリジナル包丁を作るワークショップのコラボが実現！さらに、まちなかに残る越前打刃物の歴史をたどり、寺院や刃物問屋を見学をした後は、ミシュラン1つ星の料亭『茶懐石 佳秀』で、お弁当をご堪能いただけます。

出発日 10月11日(月) 9:40~17:00

旅行代金(おとな1名様)▶18,900円 最少催行人員▶2人 所要時間▶7時間20分

※添乗員が同行します ※食事条件▶朝食なし、昼食1回、夕食なし ※往復タクシー利用
※出発時点で満18歳以上の方に限ります

ポイント

●旧北陸道界隈を散策し、越前打刃物ゆかりの地を見学 ●昼食は「ミシュランガイド北陸2021 特別版」掲載の料亭のお弁当 ●タケフナイフビレッジでは包丁研ぎ体験 ●蒔絵師の指導で包丁の柄に漆の絵付けを体験

コース

〈9:20〉観光・匠の技案内所(集合)ー〈9:45〉旧北陸道界隈(越前打刃物ゆかりの地散策)ー
〈11:30〉料亭 茶懐石 佳秀(昼食)ー〈13:00〉タケフナイフビレッジ(包丁研ぎ体験)ー
〈15:00〉山謙木工所『柄と繪』(漆絵付け体験)ー〈17:00頃〉JR武生駅前(解散)



越前打刃物ゆかりの
2つの体験がコラボします！



山本 由麻さん
(蒔絵師)



戸谷 祐次さん
(伝統工芸士)



越前カルチャーキャンパス

4.バックステージツアー・越前市 2大イベント

『サマーフェスティバル』と『たけふ菊人形』の
舞台裏を目撃！花火と菊花2つの『花』の共宴

日帰り

越前市の2大イベント『越前市サマーフェスティバル』と『たけふ菊人形』の舞台裏を見学。2つのイベントを飾るのは「打上げ花火」と「菊の花」で、いずれも「花」が主役。花を咲かせる上で、なくてはならない手仕事を、コロナ禍によりイベントがなかなか開催できない今だからこそ、バックステージツアーとしてご用意しました！

出発日 10月23日(土) 13:30~18:00

旅行代金(おとな1名様)▶3,900円 最少催行人員▶10人 所要時間▶4時間30分

※添乗員が同行します ※食事条件▶朝食なし、昼食なし、夕食なし ※往復貸切バス利用

ポイント

●『越前市サマーフェスティバル』打上げ花火の舞台裏、打上げ職人の手仕事に密着 ●『たけふ菊人形』の舞台裏、会場での菊師の手仕事や万葉菊花園での菊栽培の手仕事を見学 ●各舞台裏では、それぞれの専門家がわかりやすく解説

コース

〈13:10〉たけふ菊人形会場入口(集合)ー〈13:30〉たけふ菊人形(解説を聞きながら見学)ー
〈15:15〉万葉菊花園(栽培見学)ー〈15:50〉万葉菊花園研修会議室など(花火に関する講義)ー
〈18:00頃〉たけふ菊人形会場(解散)



おなじみのイベントを支える
舞台裏をお楽しみください！



たけふ菊人形解説
中村 隆喜さん
(元実行委員会
事務局長)



打上げ花火解説
上木 康広さん
(上木銃砲火薬店
代表取締役)

花火作業風景イメージ

万葉菊花園

たけふ菊人形

イメージ

人気企画リバイバル



5.北陸の屋根を担う職人たち 越前瓦の工場見学と 鬼瓦職人『鬼師』の手仕事 日帰り

一昨年に実施した人気企画のリバイバル。越前市は古くから越前瓦の産地としても知られていますが、ひとくちに瓦といってもさまざまな種類があり非常に奥が深い世界です。このツアーでは、一般的な瓦と独特な鬼瓦の製造現場にスポットを当て、北陸の屋根に隠された秘密と魅力に迫ります。

出発日 **10月30日** ④ 13:30~16:00

旅行代金(おとな1名様)▶2,900円 最少催行人員▶5人 所要時間▶2時間30分
※添乗員が同行します ※食事条件▶朝食なし、昼食なし、夕食なし

ポイント

- 鬼瓦職人『鬼師』の説明を聞きながら、製造工程の見学
- 越前瓦の工場を見学し、日本各地の瓦と比較しながら越前瓦の特徴を学ぶ
- オプションで瓦割り体験あり ●近隣の建物・家屋の屋根に使われるさまざまな瓦を見学

コース

〈13:15〉越前セラミカ(集合)―〈13:35〉北川鬼瓦(見学)―〈14:25〉越前セラミカ(見学)―
〈15:30〉近隣の屋根瓦を見学―16:00頃 越前セラミカ(解散) ※集合・解散場所は変更になることがあります



越前セラミカ



北川鬼瓦



鬼瓦イメージ



瓦屋根のまち並みイメージ

越前カルチャーキャンパス

6.紙幣の歴史はここから始まった!? 越前和紙の産地でたどる『お札の足跡』 日帰り

日本初の紙幣は、江戸時代に福井で発行された「福井藩札」です。その後、明治の初めに全国通用紙幣「太政官金札」、そして現在の「日本銀行券」を誕生させました。偽造防止策の透かし技術も越前の和紙職人の手によって開発されたものです。また戦中戦後には一部の紙幣は越前市で製造されるなど、越前和紙の産地はまさに「お札のふるさと」です。

出発日 **11月13日** ④ 10:30~16:00

旅行代金(おとな1名様)▶A:2,900円(昼食なし)、B:3,900円(昼食あり)
最少催行人員▶10人 所要時間▶5時間30分 ※添乗員が同行します ※Aコース食事条件▶
朝食なし、昼食なし、夕食なし ※Bコース食事条件▶朝食なし、昼食1回、夕食なし

ポイント

- 「お札のふるさと」としての越前和紙産地の歴史を座学で学ぶ ●紙の文化博物館ではツアー参加者に、紙幣関係の所蔵品を公開 ●印刷局跡地、元抄紙工場の建物(外観)の他、綴の家では紙幣関連の展示を見学
- 元抄紙工場の建物を移築し、現在は製紙所として操業中の『やなせ和紙』の工房見学

コース

〈10:00〉卯立の工芸館(集合/10:30講座)―〈11:35〉紙の文化博物館(見学)―〈12:05〉昼食(選択制)―
〈13:05〉大蔵省印刷局抄紙部跡地(見学)―〈13:20〉綴の家(見学)―〈14:15〉やなせ和紙(見学)―
〈15:10〉紙祖神 岡太神社・大瀧神社(見学/16:00頃解散)



やなせ和紙



綴の家



紙祖神 岡太神社・大瀧神社



まち歩きイメージ

越前瓦の魅力と鬼瓦の造形に触れてください。



越前瓦解説 石山 享史さん
(越前セラミカ 代表取締役)
鬼瓦解説 北川 順一さん
(北川鬼瓦・鬼師)

お札の歴史と越前和紙の関わりを解説します。



お札のふるさと解説 藤本 正晃さん
(郷土史家・元パピルス館館長)